

充填ライン稼働管理システム

TMEiC
We drive industry

IoTによる情報収集で見える化を実現！
あらゆる製造充填ラインにマッチするシステム！

概要

充填ラインの課題とは



増加する（多様化する）商品の
製造管理が難しくなっている

- ・新製品の増加により製造管理が難しくなっている。
簡単に管理ができるようにしたい。
- ・作業ミスによる品質トラブルを防止したい。



人手による業務
負荷が大きい

- ・帳票作成など人手による業務負荷を減らしたい。
- ・製造計画をベテラン従業員に頼っており技術継承したい。
- ・事務所で現場の情報を的確かつ迅速に把握したい。



トレーサビリティの
仕組みができていない

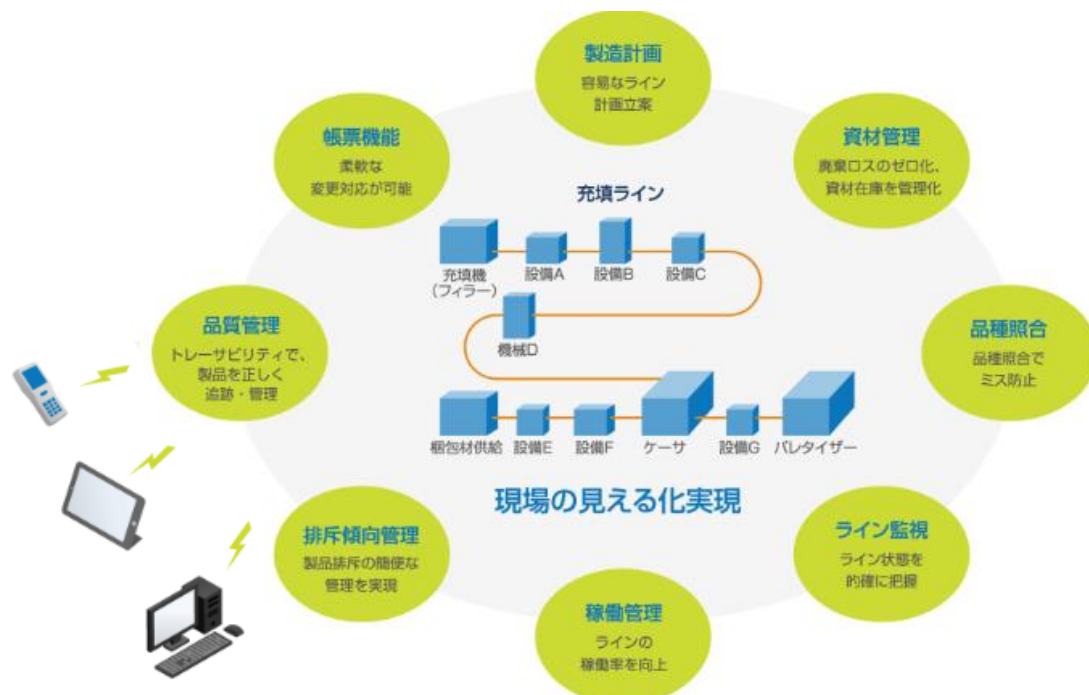
- ・資材から出荷までをスルーして管理する仕組みを構築したい。

充填ライン稼働管理システムとは

ますます多様化する消費者ニーズに応えるために新製品が増加し、製品ライン管理は複雑化しています。その結果、人手による業務負荷が大きくなり、品質トラブルや製造ロスが起こりやすい環境にあります。充填ライン稼働管理システムでは、製造前の品種照合をはじめとする8つのソリューションで、現場の見える化を実現し、作業ミスによる製造ロスを防止します。また、業務負荷を低減し、トレーサビリティの仕組みを構築します。

特長

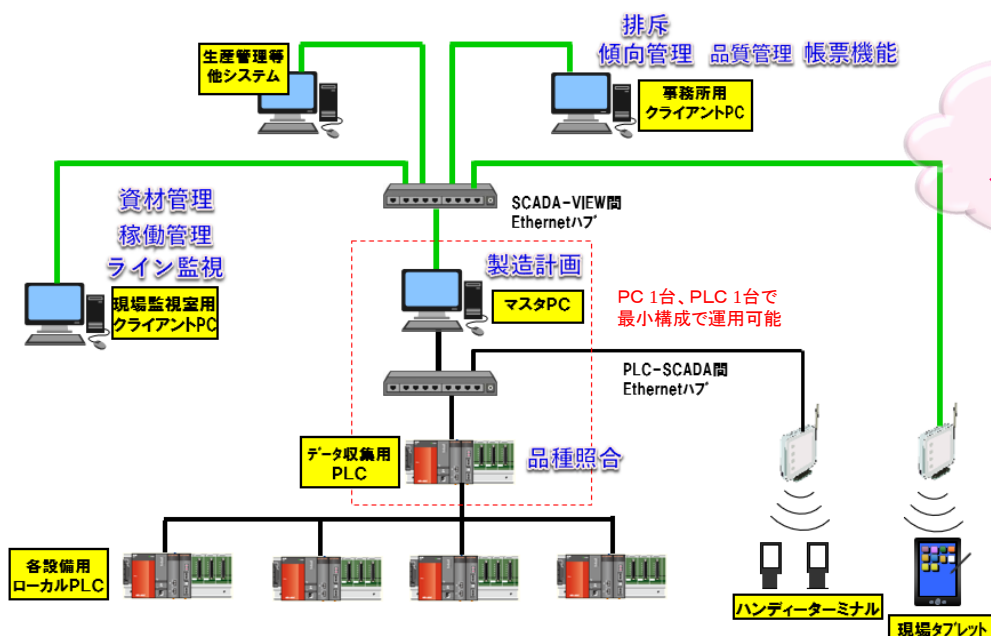
充填ラインの課題を解決する8つのソリューションで構成されます！



導入効果

機能	導入前	導入後
製造計画	設備毎に製造計画を入力する為、手間がかかり、ミスを誘発しやすかった 工程全体の進捗が見えず、管理が難しかった	製造計画を一括管理できた 製造進捗のリアルタイム把握で即対応できた
資材管理	資材投入間違いによる廃棄ロスが発生していた 資材の残数やプリフォームのエイジング時間が分からなかった	廃棄ロスがほぼゼロ化された 在庫数が明確化された
品種照合	製造パターン(液種・容器種など)の間違いによる廃棄ロスが発生していた	製造計画と連動し品種照合を実施可能になった 廃棄ロスがゼロ化された
ライン監視	ラインの運転状態は設備単位で把握していた	ライン全体の状態把握が可能になった 各工程の異常を早期発見、対応可能になった
稼働管理	製品の不具合率や設備の稼働状況が不明であった (故障回数・停止時間など)	トラブルが見える化された 分析・対策を講じ、稼働率の向上を達成できた
排斥傾向管理	各製造工程における排斥状況が不明だった どの工程・設備に問題があるのか把握できていなかった	廃棄状況が把握できるようになった 設備異常の早期発見につながった
品質管理	各工程情報の連動がなく、不具合発生時の原因追跡、分析ができなかった	工程全体でのトレーサビリティを実現できた 不具合の要因調査、波及範囲の特定が可能になった
帳票機能	設備や機器の追加、変更が困難だった 都度改善、見直しされる帳票フォームの変更が困難だった	カスタマイズ可能な帳票システムを実現できた

システム構成及び運用例



- マスタPC+データ収集用PLCの最小構成で運用できます。
- クライアントPCを増やすことで各ライン毎での管理も可能です。
- 生産管理システムなど他システムとの連携も可能です。

画面例

株式会社 TMEIC

●本カタログのお問い合わせ

営業窓口

技術問い合わせ

本 社：〒104-0031 東京都中央区京橋3-1-1 東京スクエアガーデン

URL <http://www.tmeic.co.jp>

Tel:03-3277-4991 Fax:03-3277-4574

Tel:03-3277-4440 Fax:03-3277-4572

メールアドレス info-A70-process@tmeic.co.jp

- ・Ethernetは、富士フイルムビジネスソリューション株式会社の登録商標です。
- ・その他記載の会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。
- ・記載されている会社名および製品名などには、必ずしも商標表示(®、™)を付記していません。
- ・本カタログに記載された内容および製品仕様は、予告なく変更することがあります。

⚠ 安全に関するご注意

正しくお使いいただくために
ご使用前に必ず「取扱・操作に関する説明書」を
お読み下さい。